令和４年度
新規就農者技術習得研修施設

２人以上で
参加できる人募集

インキュベーションファーム

「ピーマンで
農業所得４００万円
めざしませんか？」

宿泊施設完備

研修中に生活する住居を用意
家賃は**月額12,500円**（2LDK）

新規就農者育成総合対策

給付条件を満たせば、研修中、就農後
最長3年の給付を受けることができます

就農開始時の農地・住居の斡旋

研修が終わったら豊後大野市で就農を開始
住居（空き家や公営住宅）と農地を斡旋します

**インキュベーションとは
インキュベーター（卵の孵卵器）
を意味します。**

農業技術を持っていない就農希望者を
約２年間の研修で農業者へ
孵化（ふか）させます

Incubation Farm

大分県豊後大野市

大分県豊後大野市は、大分の野菜畑

豊後大野市は大分県南西部に位置し、大野川及びその支流河川の豊かな水利を利用した水田地帯と県内屈指の基盤整備された畑作地帯を有しています。気候は瀬戸内気候から山地気候に属し、平坦地の年平均気温は15～16℃、年間降水量は1,800mm程で四季を通じておおむね温暖で農業生産に適しています。

その立地条件を活かして、水田では、水稲・麦・大豆等の土地利用型作物の生産が行われ、広大で肥沃な畑地では、かんしょ・さといも・白ねぎ・夏秋なす・ゴーヤ等の露地野菜や、施設を利用した夏秋ピーマン・スイートピー・きく等が生産されています。

園芸振興に向けた重点品目

新規就農者はなぜ夏秋ピーマンなの?

★経営の柱として安定している

①西日本有数の生産量のおおいたピーマンの産地
②平均320円/kg（過去10年間の出荷実績H24～R3）
③基本を忠実に守っていけば、就農１年目から反収14t/10aが可能
④夫婦二人で所得400万円を目標

★生産技術が比較的容易で初期投資が少ない

①２年間の研修で基礎の栽培技術を習得出来る
②簡易パイプハウス（間口３ｍ）で初期投資が少なく、夏秋野菜なので暖房費不要
③施設栽培なのであまり広い農地を必要としない（50a程度）

★指導体制が整っている

①ＪＡピーマン部会の積極的な後継者の育成
②県・市の関係機関の指導体制が整っている
③インキュベーションファーム研修システムの確立
（基礎栽培技術、農業基礎知識の習得）

夏秋ピーマン　10a当たり経営指標（320円/kgで試算）

収入の部		支出の部	
10a当たりの販売量	14,000 kg	種　苗　費	80,000 円
経 営 面 積	10 a	肥　料　費	112,000 円
販売量合計	14,000 kg	農　薬　費	151,000 円
単　　価	320 円	諸 材 料 費	140,000 円
売　上　高	4,480,000 円	動力光熱費	39,000 円
雑　収　入	0 円	小 農 具 費	23,000 円
収 入 合 計	4,480,000 円	荷 造 運 賃 手 数 料 等	1,588,000 円
所得の部		修　繕　費	83,000 円
所　　得	2,016,000 円	ほ か 経 費	248,000 円
所　得　率	45 %	支 出 合 計	2,464,000 円

※参考です

作　型

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハウス	ハウス建設土作り	定植準備	△定植					収穫				後片付

就農に必要な機械等

機械等	規　格	金額(万円)(自己負担)	留意事項
作業舎（6mハウス）	60㎡（3/4補助）	20	７～９月の収穫最盛期の収穫調整作業の労働力確保と堆肥の投入による地力向上や連作回避が必要
ハウス（間口３m雨よけハウス）	15a（2/3補助）2022年度まで	170	
トラクター	25ps以下（3/4補助）	100	
軽トラック	（中古）	50	
動力噴霧器等		45	
		385	

Incubation Farm

豊後大野市で農業所得400万円をめざしませんか？

インキュベーションファームで立派な農業起業者に

平成24年１月からインキュベーションファームを開校し、農業の担い手の確保と併せて市の園芸重点品目である「夏秋ピーマン」の産地拡大を図っています。

インキュベーションファームでは、ピーマンで農業経営をめざす研修生を受け入れ、ＪＡのピーマン部会やファームに配置した営農指導員等の指導により、西日本有数の産地を誇る夏秋ピーマンの栽培・管理の実践研修や農業簿記等の農業経営研修を行い、ピーマンを主とした農業起業者を育成します。

募集要項

募集人員	３組／年
研修期間	２年間
応募資格	①研修に２人以上で参加できる55歳未満の方で、研修終了後も豊後大野市内に居住し就農する方 ②申し込みをする年の６月から９月の間に、短期（３日から１週間程度）の農業体験研修を行える方 ③当面必要な生活費等の資金を有する方 ④普通自動車第一種免許の資格を有する方
研修開始	毎年１月から
研修作物	夏秋ピーマン（簡易パイプハウス）、その他露地野菜
募集期間	随時（締め切りは９月末）
受入決定	毎年10月末までに『インキュベーションファーム研修生の受入審査基準』に基づき決定し、受入可否について通知します。

研修生への主な支援

1．宿泊施設

２年間の研修期間中は、宿泊施設を用意しています。
（月額12,500円、２ＬＤＫ家族型、光熱水費別、最大２年間）

2．研修終了後

就農をスムーズに行うため、農業委員会等による農地の斡旋や住宅確保のための公営住宅及び空き家情報の提供を行います。
また、経営を開始するに当たって、ピーマンハウス及び農業用機械導入の補助事業が利用できます。

新規就農者育成総合対策の活用

●就農準備資金

研修期間中の研修生（就農予定時49歳以下）に対して資金を助成。
１人あたり年間１５０万円　最長２年間

●経営開始資金

新たに経営を開始する者に対して資金を助成。
１人あたり年間１５０万円　最長３年間（※夫婦型は１.５倍）

注）新規就農者育成総合対策（就農準備資金・経営開始資金）には、給付要件が多数あります。
詳しくはお問い合わせください。

中高年移住就農給付金

就農時の年齢が50歳以上55歳未満の研修に専念する就農希望者で県外からの移住者であれば年間最高100万円、最長２年間給付を受けることができます。

新規就農支援交付金

独立自営就農時の年齢が50歳以上55歳以下の２人以上での就農であれば、１人当たり月５万円×36月の給付を受けることができます。

定住促進に対する支援

●空き家バンクの活用　市の空き家バンク制度あり　http://www.bungo-ohno.jp/

●中学生まで医療費無料　中学校卒業までの医療費を無償化し、子育て世代の負担を軽減

●移住関連補助金　空き家改修補助金等

●子育て支援　ぶんごおおの子育て応援サイト「なないろ」https://bungoohno-city.mamafre.jp

Incubation Farm

インキュベーションファーム 研修体系及び支援

短期研修	**期間（３日～１週間程度）** ・ピーマン栽培の体験。農業の大変さを実感 ・先輩農家、先輩研修生との意見交換 ・田舎暮らしの体験 ・研修制度及び給付金制度等の再確認	■研修先、宿泊施設を紹介 ■旅費・宿泊費の一部助成制度あり　県外 **交通費・宿泊費に係る2/3の助成** ※上限１人当たり58,000円
審 査 会	**審査会の実施（毎年10月）** ・短期研修態度 ・自己資金（生活資金）の確認 ・永続的な就農の熱意 ・２人以上の労働力確保 ・農業者としての身体的適正 ・協調性　など	
インキュベーションファーム研修（1年目）	**基礎実践研修（営農技術基礎研修）** ・7.5a/１組のハウスで栽培基礎実践研修 ・関係機関（県・市・JA）支援班による指導 ・農業基礎知識（土壌、病害虫、農業簿記等）の習得	■新規就農者育成総合対策（就農準備資金） ■中高年移住就農給付金 ■**収穫物は 公社の収入** ■宿泊施設の完備 ■営農指導員の配置 ■大型特殊免許取得（農耕車限定）
インキュベーションファーム研修（2年目）	**実践研修（模擬経営研修）** ・15a/１組のハウスで模擬経営 （機械施設の無料使用／肥料、農薬資材等は自己負担） ・就農準備（農地・住居） ・就農計画の作成	■新規就農者育成総合対策（就農準備資金） ■中高年移住就農給付金 ■**収穫物は 研修生の収入** ■住居・農地の斡旋 ■宿泊施設の完備 ■営農指導員の配置 ■ハウス等補助事業活用支援
就　　農	**就農開始（１月～）** ・就農地の決定（住居・農地） ・認定新規就農者の認定 ・青年等就農計画の認定	■新規就農者育成総合対策 （経営開始資金） ■新規就農支援交付金 （50歳以上）

インキュベーションファーム 研修システム

研修カリキュラム

講座名		履修時間・回数	講師（担当）
農業技術基礎講座	①植物生理・土壌肥料	24H・8回	県豊肥振興局
	②病害虫		同上
	③経営		同上
農業簿記講座	①複式簿記と青色申告	36H・12回	講師：原田孝雄（大分市）
農業機械講座	①農業機械の基礎知識	48H・7回	市農林業振興公社
	②農業機械作業安全研修会		県農業大学校、県豊肥振興局
	③大型特殊免許取得研修会		同上
農業制度政策講座	①農業振興方針（市、県、国）	12H・4回	市農業振興課、県豊肥振興局
	②ＪＡの概要と事業方針		ＪＡ
	③農業委員会の概要と農地制度		市農業委員会事務局
	④農業共済の概要と事業方針		大分県農業共済組合南部支所
農業一般講座	①市内農業の視察研修	28H・7回	市農業振興課
	②市外農業の視察研修		県豊肥振興局、市農業振興課
	③流通等視察研修		同上
	④先輩農業者の講話		市内認定農業者
	⑤担い手関係研修参加		市担い手育成支援協議会等
ピーマン栽培技術講座	①ハウス建て込み講習会	47H・34回	県豊肥振興局
	②重点栽培技術現地講習会		同上
	③時期別栽培管理技術講習会		県豊肥振興局
露地野菜栽培技術講座	①里芋栽培技術現地講習会	92H・13回	営農指導員等
	②甘藷栽培技術現地講習会		同上
	③その他野菜栽培技術講習		同上
営農技術習得実践研修		約1,800H	ＩＦ営農指導員等

農村に住むということは

新しく農業を始めるということは、同時に農村に移り住み、農村で暮らすことを意味します。つまり、農村社会の一員となるわけです。そこで、農村社会の実情を理解し「協調」する必要があります。

農村は、長年農業が営まれてきた場所であり、地域の人々同士の付き合いが都市に比べて濃密です。したがって、農業を始めるには地域に溶け込み、地域の人たちと深く親しく付き合うことが必要です。

例えば、農村では、農業用水や農道の利用・管理に伴う共同作業など直接営農に関わることや、農村の伝統行事や慣習などにも参加・協力することが求められています。

そこで、就農前の研修期間中から、地元の農家と積極的に付き合ったり、農村地域の状況も理解することにより、実際の就農がスムーズに進むことになるでしょう。就農先にできるだけ多くの知り合いをつくっていくことが重要です。

修了生

研修生

お問い合わせ先

豊後大野市就農ガイドセンター

〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地

TEL(0974)22-1001　内線 2319

インキュベーションファームホームページ
https://incubation-farm.jp

インキュベーションファーム　検索

位置図 及び アクセス

大分市
～ 豊後大野市役所

JR
JR豊肥本線で45分
三重町駅下車

車
大分市街地から45分

大分市
～ インキュベーションファーム

バス
バス（特急やまびこ号）
大分市金池ターミナル →
大野町田中バス停（55分）→
宿泊施設（車）1分